

家族のこころの病気を 子どもに伝える絵本

ブルスアルハ著・ゆまに書房



使い方

この絵本シリーズの特徴は ...



前半は子どもの視点の物語 後半はくわしい解説

絵本なので子どもに読み聞かせるもの？

... いいえ



子どもの気持ちを体感

子どもへの接し方のヒント
コミュニケーションのきっかけ
にする
絵本です

例えば... こんな気持ちでいるかもと想像する



例えば... こんな言葉かけには注意する

NGワード

「良い子にいないと
病気がよくなるよ」

病状と
子どもの行動を
むすびつけない



例えば... 日常生活をサポートする
安心できる時間やコミュニケーションを大切に



使い方は...



病名を伝えるときにこだわらない
安心して生活することを
大切に



子どもと

読もうと思ったら
子どもに読んでほしいと思ったら



① タイミングは？

子どもが知りたいと思っているとき
入院などの生活がかわるとき
親の調子のことが話題にでたとき

などは話しやすいです

② 読むときは？

年齢や個性にあわせて
言葉をいいえたり...



③ 読んだあとは？

言葉を話したあとにも
戻りがけ



思春期～は子どものペースで

自分のペースで読める場所に置く



絵本はひとつの物語

子どもの個性も家族の状況もさまざま
あう人、あわない人、さまざま
活用できそうな部分を
えらんで使ってください



支援者の方へ

子どもと読もうと思ったら...



ご本人・家族の方の意向を大切に

こんな活用法もあります

大学や専門学校の授業の資料として
イベントでの啓発ツールとして
学校や職場で共有してスタッフ間の共通理解に
朗読会で etc

絵本が子どもと大人の応援につながったら嬉しいです

